ザフト製新型モビルスーツ
ZGMF-X56S/α
「フォースインパルスガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル

FORCE IMPULSE GUNDAM

Z.A.F.T. MOBILE SUIT ZGMF-X56S/α

©創通・サンライズ

MOBILE SUIT
ZGMF-X56S/α

FORCE IMPULSE GUNDAM

Z.A.F.T. MOBILE SUIT
ZGMF-X56S/α

ザフト製新型モビルスーツ
ZGMF-X56S/α
「フォースインパルスガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2008 MADE IN JAPAN

0154498

ZGMF-X56S/α FORCE IMPULSE GUNDAM

第2次ヤキン・ドゥーエ攻防戦の終結にともない、地球連合とプラントは停戦することになった。時にC.E.71年9月27日のことである。翌3月10日、戦いの発端となった地、ユニウスセブンにおいて「ユニウス条約」が締結された。この条約は、新たな戦いを生み出さないため、また、戦渦の止めどのない拡大を回避するため、地球連合とプラントに対し、軍事的な制約を課すものであった。この条約は後の各国のモビルスーツ開発に対し、大きな影響を与えることになる。第一にモビルスーツの配備数に対する制約。国力に応じた数が決められており、人口の少ないプラントにとっては大きな制約となった。これに対応するため、以後のモビルスーツは、単機での性能の向上、及び装備変更による汎用性の拡張が求められるようになる。第二に軍事目的でのニュートロンジャマーキャンセラー（以下、NJC）の搭載機の製造が禁止された。このことにより、旧大戦末期に登場し大きく戦局を動かした核エンジン搭載機はすべて製造が出来なくなった。当時、プラントでは、次世代機として核エンジンを搭載していたZGMF-X999A ザク試作量産型を開発していたが、この機体の量産化は事実上不可能となった。プラントの開発局では、禁止条約に対応した形での新型機の開発に着手する。まず、ニューミレニアムシリーズとしてZGMF-1000ザクウォーリアが開発された。この機体は汎用性を高めるため、背中にウィザードと呼ばれる追加装備を装着することが可能であった。ニューミレニアムシリーズは、実働テストにおいて、ある程度の成功を収めたものの、パワー不足である点はいなめなかった。そこで開発陣はセカンドシリーズの開発に入る。この機体群では、新たに開発されたデュートリオンビーム送電システムによるパワー供給が可能であった。同システムを持つ機体は、戦艦からパワー供給を受けることで、ほぼ無限に近いパワーを確保出来た。システム搭載機として、ZGMF-X56S インパルス、ZGMF-X24S カオス、ZGMF-X88S ガイア、ZGMF-X31S アビス、ZGMF-X23S セイバーの5機が開発された。その中でも特にインパルスは、ニューミレニアムシリーズに採用されたウィザードを発展させたシルエットシステムを搭載し、汎用性の拡大も実現していた。後にユニウス条約は形骸化し、核エンジン搭載機が続々と開発されるようになるが、その開発ベースとしてもインパルスは活用されることになる。ZGMF-X56S/θ デスティニーインパルスは合計4機が開発され、実戦へも投入されている。この機体が発展したものが、ZGMF-X42S デスティニーガンダムである。

Conceptual illustration : BEE-CRAFT

FORCE IMPULSE GUNDAM

①ブレードアンテナ
②メインカメラ
③デュートリオンビーム受信機
④デュアルセンサー
⑤20mmCIWS
⑥インテーク／ダクト
⑦マニピュレーター
⑧対装甲ナイフ格納ラック
⑨フロントアーマー
⑩フロント・ランディング・ギア
⑪ニースラスター
⑫レッグ・ランディング・ギア
⑬フットスラスター
⑭リアカメラ／センサー
⑮レーザーサーチャー
⑯コアスプレンダー
⑰レッグスラスター
⑱ヴァジュラビームサーベル
⑲空力姿勢制御翼
⑳フォースメインノズル
㉑機動防盾
㉒トップ・ランディング・ギア
㉓ボトム・ランディング・ギア
㉔シールドマウントラック
㉕高エネルギービームライフルマズル
㉖サイトセンサー
㉗トリガー
㉘シルエットフライヤーメインセンサー
㉙シルエットフライヤーメインノズル
㉚コアスプレンダーコクピット
㉛20mm機関砲
㉜コアスプレンダーメインノズル
㉝航空ミサイルランチャー

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中に〽のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

ガンダムデカールの貼りかた

❶ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

❷保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

❸シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

パーツの切り取りかた

❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。

⚠ 注　意

必ずお読みください

- ●この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- ●小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ●ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ●小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- ●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- ●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- ●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- ●部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- ●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

パーツリスト （✕印は使用しないパーツです。）

Aパーツ（スチロール樹脂：PS）

Bパーツ（×2）（スチロール樹脂：PS）

Cパーツ（スチロール樹脂：PS）

Dパーツ（スチロール樹脂：PS）

Eパーツ（スチロール樹脂：PS）

Fパーツ（スチロール樹脂：PS）

Gパーツ（スチロール樹脂：PS）

Hパーツ（スチロール樹脂：PS）

アンダーゲートの切り方

▶アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※Jパーツの一部は下の図のように切り取ります。

※組立図中の記号説明　切り取る部分

Iパーツ（×2）（ABS樹脂：ABS）

Jパーツ（ABS樹脂：ABS）アンダーゲート有り

Kパーツ（ABS樹脂：ABS）

Lパーツ（ABS樹脂：ABS）

Mパーツ（スチロール樹脂：PS）

Nパーツ（スチロール樹脂：PS）

PC-130Bパーツ（ポリエチレン：PE）

Oパーツ（スチロール樹脂：PS）

Pパーツ（スチロール樹脂：PS）

SB4パーツ（スチロール樹脂：PS）

カラーシール……1枚
マーキングシール……1枚
ガンダムデカール……1枚

CORE SPLENDOR

〔コアスプレンダー〕

コアスプレンダーは、モビルスーツの脱出装置をそのまま戦闘機へと進化させたものである。

もともと人口が少ない上に旧大戦において、有能なパイロットの多くを失ったザフトにとってパイロットの生存率の向上は急務であった。しかし、通常の脱出カプセルでは、戦場において高い生還率をなし得ないと判断したザフト技術陣は、脱出したパーツがそのまま戦闘機へと変形するシステムを採用する。完成したコアスプレンダーは、航空ミサイルランチャーや20mm機関砲など、通常戦闘機に引けをとらない武装を搭載していた。一方、シルエットフライヤーは、無人機であり母艦からシルエットを運ぶために使用される。単独での戦闘力はないものの、通常は、艦船や基地でしか行えない武装交換を、戦場で実戦展開中に可能とするものであり、まさに戦術の大転換を迫る新たな装備であった。シンはフリーダム戦において、自機はフォースシルエット装備のまま、シルエットフライヤーが運ぶソードシルエットから武器を受け取って使用した。これはシルエットフライヤーを移動する武器庫として使用する新たな運用法である。まったく新しいシステムであるシルエットフライヤーには、さらなる運用法の可能性が無限大にあると言えるだろう。

1 CORE SPLENDOR

・組立 1 で使用するパーツ

※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる
反対側に取り付けるパーツ
切り取る部分
両側に同じパーツを取りつける
両側を同じように動かす

BODY & HEAD UNIT

〔胸部〕　〔頭部〕

ZGMF-X56S インパルスは、ザフトによって開発されたセカンドシリーズの一機である。

兵器開発用のコロニー『アーモリーワン』で作られた。戦艦ミネルバとの連動を前提とした機体である。ミネルバからは、デュートリオンビーム送電システムによって戦闘中でもインパルスに対し、パワー供給が可能であるだけでなく、各種装備も、シルエットフライヤーを使い戦艦に戻ることなく換装することが可能であった。また、インパルスの機体は、コクピットを内蔵するコアスプレンダー、上半身となるチェストフライヤー、下半身となるレッグフライヤーに分離した上で、それぞれが単独での飛行が可能であり、モビルスーツには不可能な作戦に対応出来た。また、戦闘による破損時には、即時パーツ換装により戦闘復帰が可能であった。同システムは、旧大戦末期にザフトで開発されジェネシスαに配備されたZGMF-X11A リジェネレイトのシステムを踏襲したものと思われる。（余談となるが、リジェネレイトはジェネシスαから照射されるレーザー推進システムも導入されており、これがデュートリオンビーム送電システムの発想の原点であるとも考えられる）。新たなシステムを多数導入したインパルスは、世界的に見ても新時代を代表する機体と言えるMSであった。

2 BODY UNIT

・組立 2 で使用するパーツ

※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる

※組立図中の記号説明 | 反対側に取り付けるパーツ | 向きに注意して組み立てる | シールの番号

※組立図中の記号説明 | 向きに注意して組み立てる

6 〈1〉〔肩の組立〕SHOULDER UNIT

6 〈2〉 ×2

7 〔上半身の完成〕UPPER BODY

8 9 WEAPONS

・組立8・9で使用するパーツ

8

9 〈1〉

9 〈2〉

※組立図中の記号説明 | ×2 部品を数値の個数作ります | ! 向きに注意して組み立てる

9 〈3〉

10 CHEST FLYER

・組立10で使用するパーツ

チェストフライヤーへの変形（インパルスガンダムの上半身に戻す際には、逆の手順を行ってください。）

10 〈1〉

10 〈2〉

※組立図中の記号説明 | 両側を同じように動かす | ! 向きに注意して組み立てる

10 〈3〉

〔駐機状態〕

※腕が図の位置になるように変形させてください。

10 〈4〉

〔飛行状態〕

10 〈5〉

CHEST FLYER / LEG FLYER

〔チェストフライヤー〕〔レッグフライヤー〕

チェストフライヤーとレッグフライヤーは、専用射出システムを持つミネルバでの運用を前提としている。

しかしながら、通常基地などからの発進帰還も想定し、着陸時に使用されるランディング・ギアが内蔵されている。レッグフライヤーでは、左右の脚部と腰部の合計三カ所に内蔵していたが、比較的単純な構造である脚部をメインとするレッグフライヤーに比べ、チェストフライヤーでは同じようには行かなかった。

複雑な構造を持つ腕と、センサー系を内蔵した頭部を持つからだ。最終的にチェストフライヤーでは、ランディング・ギアを内蔵せず、シールドの一部が変形することで対応している。

MMI-RG59V 機動防盾

上下に装甲部がスライドすることで防御面積の伸縮が可能となったシールド。

これは、汎用機であるインパルスの各種運用時に応じて大きさを選択できるようにした結果、このようなシステムが採用された。またチェストフライヤー時にも、小さくなった機体の大きさに合わせて小型化出来る。インパルスほどの汎用性を持つ機体が存在しないため、他の機体での採用はされていない。

MA-BAR72 高エネルギービームライフル

セカンドシリーズの機体には、デュートリオンビーム送電システムによるパワー供給を前提として設計された、高出力ライフルが装備された。インパルス、カオス、ガイア、セイバーのライフルは、ほぼ同一の設計思想を持つ。その原型は、旧大戦時に開発された核駆動機、フリーダム、ジャスティスに装備されたライフル、MA-M20ルプスである。

11 WAIST UNIT

・組立 11 で使用するパーツ

11 〈1〉 〔腰部の組立〕 WAIST UNIT

11 〈2〉

※組立図中の記号説明 ! 向きに注意して組み立てる　後から組み立てる

THOSE WHO CALL FOR WAR

ザフトの兵器開発コロニー『アーモリーワン』が、何者かの襲撃を受け、ロールアウトしたばかりのセカンドステージシリーズのモビルスーツ3機が強奪された。ソードインパルスで出撃したシン・アスカ。「何でこんな事!また戦争がしたいのか!あんた達はっ!!」憤るシンのソードインパルスが3機と交戦状態に入る。やがて奪われたカオス、アビス、ガイアの三機が脱出を始める。格闘戦用であるソードシルエット装備のインパルスに対し、母艦ミネルバは、ただちにフォースシルエットを射出。シルエットフライヤーによって空中のインパルスに届くと、インパルスはすぐさまソードシルエットを切り離し、空中で合体する。この瞬間から格闘戦用から、空中戦闘能力を持った機体へと瞬時に生まれ変わった。圧倒的な空戦機動力を持ったフォースインパルスが、奪取された3機のガンダムに迫る!

NIGHTMARE

ロゴスこそ世界の敵である。デュランダル議長は、世界に向けそう発表した。加えてミネルバに対しアークエンジェルを討つように命令を下した。そしてキラのフリーダム対シンのフォースインパルスが雌雄を決する時が来た。「いつもそうやって!やれると思うなぁぁ!!」シンはフリーダムとの戦いに備え、彼の戦い方を研究し尽くしていた。非殺をかかげるキラは絶対にコクピットを狙わない。均衡した戦いの中でシンはフォースインパルスの機体性能を限界まで引き出し、次第にキラのフリーダムを追い込む。「うおおお!逃がさないと言ったろ!!」救えなかったステラを想うシンが執拗にフリーダムを追撃する。「あんたは俺が撃つんだ!今日!ここで!!」劣勢に立たされるキラのフリーダム、「こんな、これは…。」インパルスはフォース装備でソードシルエットを新たに呼び寄せる。そして、遂にインパルスのエクスカリバーがフリーダムを貫いた!「やった…ステラ。やっとこれで…。」海面に漂うフリーダムの残骸、大破寸前のインパルスのコクピットでシンの言葉が歓喜に変わっていた。

THE LAST POWER

連合、プラント双方を巻き込んだ戦いは、デュランダルの発表したデスティニープランによって最終局面に入った。デュランダルは、要塞メサイアで戦いの指揮を執る。そして、その周囲では運命に導かれた者たちの戦いが繰り広げられていた。ルナマリア・ホーク。新たにインパルスのパイロットとなった彼女は混戦の中にアスラン・ザラの駆るインフィニットジャスティスを見つけ出す。「ジャスティス!アスラン!?」アスランはかつてミネルバに搭乗し共に戦った仲間だった。だが今では妹のメイリンを連れ出し脱走した裏切り者。暖かな思い出の数々がルナの心に浮かび上がる。それはそのまま戦いへの衝動へと変わる。「よくもメイリンを!」ルナマリアのフォースインパルスがジャスティスに迫る。「邪魔をするな!きみを撃ちたくなどない!」「なにをぉぉ!!」戸惑うアスランにルナマリアのフォースインパルスの猛攻が加わる!

CUSTOM MODEL キミだけのカスタムモデルに仕上げよう!!

©創通・サンライズ

■ザフト製MSインパルスに、連合製X105系用に開発された様々なストライカーパックを装着可能。

[マルチパック]

[ストライカーパック(I.W.S.P.)]

連合製X105系ストライカーパックをザフト製であるインパルスへ装着可能とする「マルチパック」を装備。MGシリーズの「ストライクガンダム+I.W.S.P.」や「ランチャー/ソード ストライクガンダム」等、様々なストライカーパックを本商品に装着することが可能。インパルスとストライカーパックの組み合わせで、オリジナルのインパルスガンダムがディスプレイできます。

■ワンポイントステップ
スミ入れしてみよう!!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、ミゾの所に線を引くことで、模型が引き締まります。

[before]

[after]

※写真の完成品は、塗装してあります。　※写真と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。　※MG「ストライクガンダム+I.W.S.P.」は別売りです。

PAINTING

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。　※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。　※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

フォースインパルスガンダム

- 本体等ホワイト部の塗装色。ホワイト(95%)+ネービーブルー(5%)+ブラック(少量)
- 胸等ブルー部の塗装色。コバルトブルー(70%)+ホワイト(20%)+インディブルー(10%)
- クツ等レッド部の塗装色。モンザレッド(100%)
- アンテナ等イエロー部の塗装色。イエロー(65%)+ホワイト(30%)+オレンジ(5%)
- 本体等ライトブルー部の塗装色。ホワイト(85%)+コバルトブルー(10%)+ピンク(5%)+ブラック(少量)
- フレーム等グレー部の塗装色。ニュートラルグレー(90%)+ブラック(10%)
- ビームライフル等パープルグレー部の塗装色。ホワイト(50%)+ミディアムブルー(20%)+ブラック(20%)+パープル(10%)
- 対艦刀ライトパープル部の塗装色。ホワイト(60%)+コバルトブルー(35%)+パープル(5%)+ブラック(少量)
- フォースシルエット等ダークグレー部の塗装色。ミッドナイトブルー(100%)

シン・アスカ、ルナマリア・ホーク

- ノーマルスーツホワイト部の塗装色。ホワイト(100%)
- ノーマルスーツレッド部の塗装色。あずき色(100%)
- ノーマルスーツダークブルー部の塗装色。ミッドナイトブルー(100%)
- ノーマルスーツイエロー部の塗装色。オレンジイエロー(100%)
- 顔　肌色部の塗装色。はだ色(100%)
- シン 髪　ダークブルー部の塗装色。ブルー(80%)+ブラック(15%)+レッド(5%)
- ルナマリア 髪　パープル部の塗装色。パープル(70%)+ピンク(30%)
- バックパックグレー部の塗装色。エアクラフトグレー(90%)+ブラック(10%)

▲ フォースシルエット上面に、姿勢制御と冷却機構を兼ねた可動部を設けている。

▲ フォースシルエット下部のバインダーアクションは2重の可動箇所で再現。

▲ 主翼の折り畳み機構と専用台座によりフォースシルエットの駐機状態を再現。主翼格納状態でのMS形態も表現。

▲ 変形に対応した関節構造も再現。

▲ フリーダムガンダムを撃破したエクスカリバーをセット。

▲ バンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用して、各飛行形態を一斉にディスプレイ可能。

▲ 機動防盾はスライド開閉式。ビームライフルは腰部後方にマウント可能。

▲ コクピットハッチ開閉式。シンとルナマリアの1/100フィギュアが付属。

12 13 14 15 16 LEG UNIT

※ヒザを大きく曲げると、太腿がスライド可動します。しっかりスライドするか確認してください。
（スライド部を手で持っていると可動しないことがあります。）

※組立図中の記号説明
×2 部品を数値の個数作ります
! 向きに注意して組み立てる
後から組み立てる
反対側に取り付けるパーツ

14 〈2〉

14 〈3〉

14 〈4〉

14 〈5〉

※ヒザを大きく曲げると、太腿がスライド可動します。しっかりスライドするか確認してください。
（スライド部を手で持っていると可動しないことがあります。）

15 〈1〉

15 〈2〉

16 〔下半身の完成〕LOWER BODY

※組立図中の記号説明：反対側に取り付けるパーツ／両側に同じパーツを取りつける／×2 部品を数値の個数作ります／向きに注意して組み立てる

17 LEG FLYER

・組立17で使用するパーツ

レッグフライヤーへの変形（インパルスガンダムの下半身に戻す際には、逆の手順を行ってください。）

17 〈1〉

17 〈2〉

17 〈3〉

※組立図中の記号説明：両側を同じように動かす／向きに注意して組み立てる

SILHOUETTE FLYER & FORCE SILHOUETTE
〔シルエットフライヤー〕〔フォースシルエット〕

旧大戦中にザフトのジェネシスαにおいて、それまでとは違ったコンセプトを持つ機体が開発された。その一つがパーツ換装システムを持つZGMF-X11Aリジェネレイトである。また、ZGMF-X12Aテスタメントは、ザフト機でありながら連合のストライカーパックが運用可能な機体であった。インパルスにおいても、さらなる拡張性を模索するなかで、連合のストライカーパックの運用を可能とするテストパーツの製作が行われたことがある。テストでは、コアスプレンダーの代わりにマルチパック機能を有するコアブロックが採用されている。この開発にはオーブからプラントに移住したコーディネイターの協力があった。結果完成したパーツは、オーブで採用されていたストライカーパックである「I.W.S.P.」、及びストライカーシステムに準じて製作されたORB-01 アカツキの独自パック「オオワシ」、「シラヌイ」に関してもデータ上、使用可能であると判明している。当然ながら連合純正のストライカーパックは全て使用可能であり、これはワンオフ機であるAQM/E-X09Sノワールストライカーも例外ではない。インパルス専用装備であるフォースシルエットは、機体の空戦機動力を最も有効に引き上げる装備であったが、非常時においては、他軍の装備を運用して、戦局に対応することも考えられていたのだ。

18 19 SILHOUETTE FLYER

・組立18・19で使用するパーツ

18 〈1〉〔シルエットフライヤーの組立〕SILHOUETTE FLYER

18 〈2〉

※組立図中の記号説明 ! 向きに注意して組み立てる

18 〈3〉

19 〈1〉〔フォースシルエットの組立〕FORCE SILHOUETTE

19 〈2〉

19 〈3〉

19 〈4〉

※組立図中の記号説明 ! 向きに注意して組み立てる 反対側に取り付けるパーツ

※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる
切り取る部分

19 〈12〉

20 21 22 23 FORCE IMPULSE GUNDAM

※組立図中の記号説明　両側を同じように動かす

21〔インパルスガンダムの完成〕

22〔武器の装備〕 〈1〉 WEAPONS EQUIPMENT

※組立図中の記号説明　両側に同じパーツを取りつける　どちらかを選んで取りつける

22 〈4〉

22 〈5〉 〔コクピットハッチの開閉〕

22 〈6〉

※上半身を引き出すと
可動範囲が拡大します。

23 〈1〉 〔フォースインパルスガンダム〕 FORCE IMPULSE GUNDAM

23 〈2〉

※組立図中の記号説明

両側を同じように動かす

〔基本説明〕 HOW TO
〔部品表〕 PARTS LIST
〔コアスプレンダー〕 1 CORE SPLENDOR
〔チェストフライヤー〕 2〜10 CHEST FLYER
〔レッグフライヤー〕 11〜17 LEG FLYER
〔シルエットフライヤー〕＋〔フォースシルエット〕 18 19 SILHOUETTE FLYER & FORCE SILHOUETTE
〔フォースインパルスガンダム〕 20〜23 FORCE IMPULSE GUNDAM
〔オプション〕 24 25 OPTION
〔シール〕 SEAL

23 〈3〉

※C19・C20は好みの場所に飾ってください。

24 25 OPTION

・組立 24・25 で使用するパーツ

24 〈1〉

※奥までしっかりとはめ込みます。

24 〈2〉

※好みに合わせて取り付けてください。

※組立図中の記号説明

向きに注意して組み立てる

両側に同じパーツを取りつける

24 〈3〉

25 〈1〉

25 〈2〉

※コアスプレンダー、フォースシルエットを外しておきます。

※I.W.S.P.等、他のMG、1/100スケールプラモデルのストライカーパックを装備することもできます。プラモデルによっては取り付けられない場合があります。

※組立図中の記号説明

両側に同じパーツを取りつける
反対側に取り付けるパーツ
向きに注意して組み立てる

Seal
〈シール〉

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「ひらがなの黒文字」、ガンダムデカールは「英字の白文字」で表記してあります。
【例】㋐・・・マーキングシール　Ⓐ・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】

1.転写するマークを大まかに切ります。
2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのものです。貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。